

令和2年度日本魚病学会春季大会の開催中止について（令和2年2月21日）

新型コロナウイルス感染がじわじわと拡がる中、ぎりぎりまでその推移を注視しておりましたが、2週間後の大会開催期間中どのような感染状況になっているか、結局、現時点ではそれを見通すことができませんでした。イベントの自粛を求めるものではないとの厚労省の見解が出ているものの、大勢が集まる場での感染リスクが高いことも事実であり、状況によっては集団感染を引き起こしかねません。大会実施に伴うリスクと学会員の情報発信・交換の場の提供をどのように考えるのか、大変難しいところですが、学会長、幹事および大会委員長で慎重に協議しましたところ、学会員・関係者、ならびにその周囲の方々の健康が何よりも優先されるべきとの結論に至り、本大会を中止するのが適当であるとの苦渋の決断をいたしました。

中止の決定が開催間際になりましたこと、お詫びいたします。大会参加のご予定の皆さまには、交通や宿泊等のキャンセルで大変ご不便・ご負担をおかけいたしますが、状況に鑑み、お許しいただけると幸いです。

大会自体は実施しませんが、発表業績は学会として認めることといたしますので、要旨集にある発表は令和2年3月7日および8日に公表されたものとして扱います。講演要旨集は学会HPから3月7日にダウンロード可能とする予定です。また、印刷版の要旨をご要望の方は、有料で販売いたしますので、大会事務局（fishpathol2019@gmail.com）までお申し込みください。なお、講演者のご都合による講演取り消しにつきましては、通常通り大会事務局で受け付けますので、大会事務局からの申込受付メールに返信する形で、講演を取り消す旨の連絡をお願いいたします。

本春季大会ではお目にかかることがかなわなくなりましたが、皆さまのご健康を祈念しますとともに、新型コロナウイルス感染が早期に終息し、秋季大会にてお会いできることを楽しみにしております。

令和2年度日本魚病学会春季大会 大会委員長 佐野元彦